

第1部 14:30~15:35

医療機関の採算を考慮した 医工連携のススメ

信州大学及び信州メディカル産業振興会では、これまで医療現場とものづくり企業による医工連携を通じて数多くの医療機器・器具等を開発して市場に送り出してきました。しかしながら、市場に受け入れられず苦戦を強いられている製品が多いのも事実です。いかにして売れる製品を開発するか、市場で魅力ある製品にするかが本振興会の大きな課題となっています。

今回、医療機器開発のご経験があり、さらに医療機器等を購入する医療機関側の事情に詳しい神戸大学医学部附属病院の加藤博史氏を講師にお迎えして、“医療現場が購入しやすい医療機器”という視点でご講演いただきます。



加藤 博史 氏

神戸大学医学部附属病院
医療技術部臨床工学部門 臨床工学技士長

参加
無料

日時：平成31年 **3月25日** 月 **14:30~17:15**
 (受付開始：14:00)
 場所：信州大学松本キャンパス 旭総合研究棟 9階 講義室

第2部 15:45~17:15

医工連携成果報告会2019

「心肺蘇生音声誘導器（レスキューガイド）」

NISSHA株式会社 デバイス事業部 新製品開発部
新事業推進マネージャー 川口 一雄 氏

「酸素ボンベ残量アラート」

- ・社会医療法人抱生会 丸の内病院 診療技術部臨床工学課
臨床工学技士 吉澤 光崇 氏
- ・株式会社ユタカ 松本工場 技術課 係長 山崎 正之 氏

「フリーアーム付きルーペ」

株式会社ナイツ 商品企画部 兼 商品設計部 部長 柳澤 重一 氏

活動報告

AMED国産医療機器創出促進整備等事業
住民参加型の医工連携ものづくりモデル構築事業

信州大学
信州メディカル産業振興会

【参加お申込み・お問合せ先】 ※お申込み方法は、裏面をご参照ください。

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構URA室 (信州メディカル産業振興会 事務局)

TEL: 0263-37-3421 FAX: 0263-37-3425 mail: smia@shinshu-u.ac.jp

講師プロフィール



兵庫県伊丹市出身。
1991年 社会医療法人 雪の聖母会聖マリア病院(福岡)勤務。
1994年 一般財団法人 神戸市地域医療振興財団 西神戸医療センターを経て、2018年度より現職。
2011年 兵庫県立大学大学院経営研究科 ヘルスケアマネジメント修士学位を取得。

院外活動として、兵庫県臨床工学技士会理事・副会長、内閣府第6回次世代医療機器開発推進協議会 構成員、日本臨床工学技士会 臨・学・産連携推進委員会委員長、先端医療推進機構 医療機器等事業化促進プラットフォーム事業 アドバイザー、東北経済産業局 医療現場ニーズ事業スキームに関する広域連携会議委員、大阪府産業技術研究所「ライフ&メディカルイノベーションプロジェクト」顧問、(株)メディシンク医療機器イノベーションアドバイザー、eNFC医療安全研究会 専門委員 など

医療機器開発の実績

- ・オムロンヘルスケア(株)：スポットチェックシステム
- ・タキゲン製造(株)：点滴ボール電源コンセントLE-550
- ・(株)村田製作所：スマートカフ (携帯型自動カフ圧計) など

現在は、医療政策を踏まえ、DPCデータ・公開データなどの分析をもとに行い、これを医療機器のプロモーションに活用することを試みている。

成果報告会で紹介する製品



心肺蘇生音声誘導器
(レスキューガイド)
NISSHA株式会社



酸素ボンベ残量アラート
株式会社ユタカ



フリーアーム付キルーペ
株式会社ナイツ

会場へのアクセス

信州大学・松本キャンパスへのアクセスにつきましては、下記URLをご参照ください。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map05.html#access>

※お車で越しの際は、附属病院の駐車場をご利用ください。なお、駐車料金は参加者様のご負担となります。



お申込み方法

参加ご希望の方は、①所属機関、会社名または住所 ②所属部門・役職 ③氏名を明記のうえ、件名に「3/25セミナー参加申込み」と記載し、メール(smia@shinshu-u.ac.jp)、または、FAX (0263-37-3425)、電話(0263-37-3421)により、3月20日(水)までに、**信州大学URA室(信州メディカル産業振興会事務局)**までお申し込み下さい。

主催

信州メディカル産業振興会(SMIA)
信州大学 医学部附属病院
信州大学 学術研究・産学官連携推進機構

皆さまざまのご参加をお待ちしております。